石橋供養塔（いしばしくようとう）

この供養塔（くようとう）は、橋の安全や道を行き交う人々の無事（ぶじ）をいのって建てられたものです。石橋をかけるには多くのお金と苦ろうを必要としましたが、それにもかかわらず進んで供養塔を建てたのは、いいことをすることが仏教の教えを守ることと考えられたからです。